

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第3回定例会で27人の議員が行った一般質問の主な内容です。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
質問の詳細は会議録に掲載しています。会議録の公開予定等は最終面「第3回定例会会議録の公開予定」をご覧ください。

凡例
自由民主党西東京市議団 (自 民)
西東京市議会公明党 (公 明)
日本共産党西東京市議団 (共 産)
統一会派みらい (みらい)
民主改革フォーラム (民主改)
生活者ネットワーク (ネット)
無所属 (無所属)

3館合築の是非は市民が決める！
市民だましの行政は許さない！

森 てるお (無所属)

質問 市民を置き去りにした行政主導の市政が行われている。庁舎統合問題の市民説明会に4回出席した。庁舎統合に課題はあるが、田無公民館・中央図書館・市民会館の3館合築についての質問が多かった。市民の皆さんの意見を聞いて決める行政は許さない。合築の懇談会とは何か。

回答 基本プラン策定懇談会は3回開かれた。3施設融合が生み出す新たな機能を検討してもらっている。

質問 基本プランを作成するだけの懇談会は、3館合築が採用されないとなれば壮大な無駄だ。市民説明会では「合築はまだ決まっていない」と説明している。

回答 3館合築の方針は決定しており、それを前提に懇談会での議論を経て詳細

質問 本市の東京オリンピックへのこれまでの取り組みを伺う。

市長 平成26年度は2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成を目的に、「1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念写真展」をスポーツまつり等各種イベント会場や田無・保谷庁舎で行った。また、「1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業ファミリースポーツデー」では、男子体操競技メダリストや、女子車椅子バスケットボールチーム等をお招きし、オリンピックと一緒に親子運動遊びや、車椅子

保育園の質を重視した職員体制！
世界に通用する子どもを育てよ！

森 信一 (民主改)

子ども・子育て支援制度について

質問 保育園の質を確保するために、特に看護師、調理作業員などの職員配置や処遇改善及び人材確保等が適切に行われているか。

回答 市の定員適正化計画などの整合性を図りながら整理する。

意見 定員適正化計画の枠にはめず、看護師は各園必ず1名、調理作業員は正規職員を1名以上残すことを要望する。

質問 介護労働者の処遇及び職場環境の実態について

回答 介護事業所の職員の離職が後を絶たないと聞くが、対策等はあるか。

質問 介護労働者の処遇及び職場環境の実態について

回答 介護事業所の職員の離職が後を絶たないと聞くが、対策等はあるか。

サービス付き高齢者向け住宅と
地域医療の連携強化を問う

二木 孝之 (民主改)

質問 高齢者の居住の安定を確保することを目的として、介護・医療と連携したサービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」の都道府県知事への登録制度が創設された。しかし、登録基準は、「少なくとも

安否確認及び生活相談サービスを提供すること」にとどまっている。市内のこの住宅への入居者の現況はどのようなになっているのか。また、市はこの住宅とどんなかかわりを持ち、地域医療との連携強化に向け対応

しているのか。
回答 5月現在、医療介護併設型1カ所を含め9カ所、約350戸の登録がある。入居者のうち自立の方は約1割、要介護認定者は約9割である。現在、都の立ち入り検査へ市は同行していないが、検査業務は市に移管されると聞いている。今後は、要介護度の重度化等に対応できる体制を構築していくこ

とが課題と考えている。
質問 本市のがん検診対象者の条件は、3月31日時点の「年齢が偶数の方」のみが受診資格者とされている。受診率向上のために、「前年度に受診していない方」と平成28年度から改めるべきと考える。検討状況は。
回答 検診医療機関の受け入れ体制などを考慮に入れながら検討したい。



オリンピックに対する取り組みは
はなバスに見直し、ベンチ設置を

坂井 かずひこ (民主改)

質問 本市の東京オリンピックへのこれまでの取り組みを伺う。

市長 平成26年度は2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成を目的に、「1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念写真展」をスポーツまつり等各種イベント会場や田無・保谷庁舎で行った。また、「1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業ファミリースポーツデー」では、男子体操競技メダリストや、女子車椅子バスケットボールチーム等をお招きし、オリンピックと一緒に親子運動遊びや、車椅子

バスケットボールミニゲーム等を行い、約900名の親子の方々の参加があった。
質問 特に高齢者が多く利用する、はなバスのバス停へのベンチ設置について伺う。

市長 田無駅北口のはなバス停留所へのベンチ設置については、歩行者などの円滑な通行への影響等の課題を整理するとともに、利用者の利便性の向上に向け、民間路線バスの取り組み等も参考にしながら、引き続き、検討する。民間バス事業者に対しても、これまでさまざまな機会を通じて、バス停へのベンチ設置の要

誰もが安心して暮らまじづくりを
若者の声を反映するまじづくりを

田代 伸之 (公明)

質問 地域コミュニティ再構築に向けて重要である担い手確保の取り組みは。
回答 取り組みは進めてきたが、地域活動を支える担い手確保は課題である。
意見 市職員が地域に出て市民と一緒に課題解消していく体制をつくるべき。

質問 認知症徘徊高齢者を地域で支えるため、市民に情報提供すべき。
回答 積極的に検討し確保を図る。地域バランスにも十分配慮する。

質問 都市計画マスタープランを踏まえ、平成37年度に向けた田無駅南部地域、西武柳沢駅南口周辺のまちづくりの取り組みを問う。

回答 田無駅南部地域は、豊かな地域コミュニティが育まれるコミュニティ施設の充実を努める。西武柳沢駅南口は、駅周辺の住民が日常生活などのふだんの買い物を駅周辺で済ませられる商業施設の集積を目指す。
質問 戦後70年。平成26年にNGOによる「平和の文化と子ども展」が開催され

子どもから高齢者まで安心して豊かに暮らせるまじづくり
大林 光昭 (公明)

質問 本市の平和都市交流の取り組み状況を問う。
回答 広島平和の旅を実施し、式典参加や被爆体験者講話などに取り組んでいる。
意見 平和構築には、意見や信条の違いを超えて互いの合意点を生み出す粘り強い対話が不可欠と考える。市民レベルの相互理解、信頼が醸成される都市交流に発展させるべき。

質問 特別支援学級の教育内容、施設面など教育環境を充実すべき。
回答 個別の教育的ニーズを捉え、的確な指導、学びの場の充実を図る。施設面では市内配置バランスを考えた設置を検討。
質問 駅及び周辺のまじづくりに関する見解は。
回答 地域の特徴を生かしたまじづくりに取り組む。
意見 ひばりヶ丘駅周辺に利便性、災害時の対応のためにWiFi環境を整備すべき。

課後子どもカフェなど空き教室の積極的活用、児童館で昼食がとれるような運用改善といった子どもの居場所づくりに活用すべき。
回答 ご意見を参考に、課題解消につながるよう調整、協議、検討していく。



平和事業の一環として実施「広島平和の旅」